

専門家と連携した防災出前授業

| | |
|-----|------------------------------|
| 講師 | 山口大学大学評価室 准教授 鈴木素之先生 |
| 実施校 | 田布施町立麻郷小学校 6年生(49人) |
| 日時 | 平成22年12月16日(木) 14時10分～15時50分 |

※麻郷小学校は今回、6年担任の山根基秀先生の立案で、社会科を中心とした教科横断的な8時間の学習計画を計画されました。その5・6時間目が防災にかかる内容です。(下表参照)

| 時 | 学習活動 |
|---|--|
| 5 | 【生活の安定向上と政治の関わりを学ぶ】 町建設課より講師を招き、ハザードマップ作成等の町の防災対策について聞く |
| 6 | 【災害について学び、防災知識を深める】 専門家と連携した防災出前授業(本時) |

1. 学習内容の確認

防災とは災いを防ぐこと

災害が起きた時に身を守るためにすること

↓ 「県内での土砂災害被害を写真で解説」

自然のこと、地域のことをもっと知ろう！

2. 地震について

地震による被害について

↓ 「兵庫県南部地震の被害を動画で視聴」

「家屋被害・鉄道被害等を写真で確認」

地震に伴う液状化現象について

↓ 「鳥取県境港での被害写真をもとに解説」

- ①土中には多くの水分が含まれる
- ②地震により、砂粒が離れ浮き上がる
- ③砂が沈み、土中の水分が浮き上がる

液状化現象の仕組みを実験で確認しました。

- ①液状化前の地面を触ると固く、締まっていた。
- ②台を左右に震動させていくと
- ③突然、液状化し、水が噴出してくるとともに、建物の模型等が砂の中に沈みこみんでいき、逆に土中の軽い物が浮き上がってきた。



地震発生の仕組みについて

↓ 「活断層(正・逆断層)をモデルで説明」

「野島断層等を写真で確認」

「山口県付近の活断層を確認」

↓ 「プレート型地震の原因をCGで確認」

- ・岩国断層と菊川断層は活動の可能性がある(動くのは1000年に1回～1万年に数回程度)
- ・プレートの境目では地震が起こりやすい

津波について

↓ 「津波の被害を動画で確認」

「津波被害前後の変化を航空写真で確認」

非常に速く伝わるため(深海では時速800km)

遠くへ逃げられなければ高い所へ逃げる

3. 台風について

山口県は台風の通り道→知識と準備が必要

↓ 「衛星写真や動画で確認」

- ①川・海・用水路等の危険場所に近づかない
- ②雨による崖崩れの前兆に注意、近づかない
- ③テレビ等で状況確認、防災用品を事前準備

台風発生の仕組みを実験で確認しました。

- ①装置の中にドライアイスの煙を入れる。
- ②筒の上部を掃除機で吸い込み、上昇気流を発生させる。
- ③下部の空気取組口にフィンがあり、渦ができる。



災害に備える心構え

- よく知る・知ろうとする態度が大切
- 仕組みを理解し、何が起こるか想像する

3. Q & A

Q:正断層と逆断層はどちらが被害が大きい?

Q:高潮とはどんな現象?